

企画展

昭和の雑誌大集合！

ーヤマザキコレクションー

マンガ・映画・クルマ・芸能・ファッション・野球…いろんなジャンルの雑誌を並べた、昭和の熱気いっぱい展覧会です！

と き 2月6日(土)～3月21日(日)

と ころ 特別展示室

入 場 料 無料



ミニ展示 ひなまつり

七段飾り・御殿飾りなど、昔のおひなさまを展示します。

と き 1月30日(土)～3月7日(日)

と ころ 1階ロビー

★県内博物館を巡るひなまつりスタンプシールラリーに参加しています。



竹島水族館 Aquarium

☎ 68-2059

館長の
ひなごんちゃん



小林龍二

魚の中には、ワニゴチとかゾウギンザメとか、ほかの動物の名前の付いたものが結構いて、今年は丑年というところで「ウシノシタ」を紹介したいのですが、この魚はもはやズバリ見た目だけの直球で名付けられた魚です。

ウシノシタは三河湾にも住んでいるおなじみの魚で、時期になるとスーパーでも売っている通称「舌平目」です。牛の舌というものを焼肉以外で真剣に見たことがないので、この魚は舌というか使い古した靴の中敷きにそっくりのペラペラ魚。同じペラペラ族にカレイやヒラメがいますが、彼らのほうがまだ魚らしさを若干とどめていて口が顔の先端にあるし、眼もはっきりしており、平べったいながらもひたむきに努力しているように見えます。しかし、ウシノシタさんは口が体の横に付いており、ヒレもあいまい、なにかもういろんなことを全面的に諦めてしまっ



いるようなうつろな眼をしています。水族館で展示すると、砂に潜って寝てしまいエサの時だけ砂から出てきますが、口が横に付いているので、うまくエサが食べられないようであれ、あら、どこだ、なんて言っても上下左右に当てずっぽうでウロウロ動いています。基本的に砂に潜っているので、普段お客さんはまったくその存在に気が付かず、水族館としての仕事をしてくれない困った魚です。あまり他の水族館では展示されていませんが、丑年にちなんでちょっとだけ気にかけてください。